



### ①幸手城址 (幸手駅周辺)

駅周辺には応永6年(1399)一色氏が築いた幸手城があった。遺構は失われ地名として「陣屋」が残るだけである。近くに「一色稲荷神社」があり「陣屋稲荷」とも言われている。



### ②明治天皇幸手行在所跡

志手橋北側に「明治天皇幸手行在所」と刻まれた石柱が立っている。ここは明治天皇が奥羽・北海道巡行のほか、2回5日間宿泊された旧中村家の跡である。



### ③ハッピーハンドモニュメント

幸手は「幸せの手」と書く。その年、日本一幸せだった人を市民投票で選びその手形をモニュメントとしている。

### ④神明神社

幸手宿入口志手橋の傍らにある。境内には成田・菅谷の両不動尊を祀るお堂がある。菅谷不動尊は田螺不動の名で眼病に霊験があると大いに信仰されていた。ここには明治初期、陸羽道を測量の際基準に使った「不(几号)の刻印が灯籠の台石に残されている。



### ⑤朝萬旅館

幸手宿の頃から続いている旅館である。明治天皇東北巡行供奉の人達や同天皇お付の学者となった秋月福爾らが宿泊した。

### ⑥天神神社

菅原道真を祀った裏町の氏神で昔より信仰されている。通称天神町という。またこの地は幸手城の表鬼門にあたり城の守護神として祀られていた。一色氏の「五天神」の一つである。



### ⑦満福寺

毎年8月9日に行われる四万六千日の縁日は有名である。天明3年(1783)7月の浅間山の大噴火により、宿民が困窮した時、名主や富裕商人21人が飢えに苦しむ人々に粥をこの寺で施した。この事実は親寺である北一丁目正福寺の「義賑粥施之碑」に刻まれている。



### ⑧幸宮神社

幸手の総鎮守として親しまれている古社である。本殿の彫刻は見事で市指定文化財である。幸手夏祭りの神輿は合祀された八坂神社より渡御する。

